

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	38	火災や地震、水害等の災害時における職員の対応と地域との協力体制の確保	あらゆる災害に対して職員ができるだけ沈着冷静に判断・対応ができる。また災害状況や利用者の状態等の中で最善の安全が確保出来るよう訓練の実施	利用者の状態や自然災害等多様な状況に合わせた訓練を年2回実施。地域住民(町会等)と協力した防災訓練の実施を運営推進会議等を通じて早期開催を図る	12ヶ月
2	8	現状、身体拘束を行わないケアを実践しているも転倒リスク回避のためにご家族側より身体拘束を強く要望された場合の対応	ホームの方針として身体拘束を実施しないケアを継続	身体拘束に関する勉強会等の定期的開催。ご家族様とホームの方針、リスク回避のマニュアル等開示面談を重ねご理解とご協力を求める	12ヶ月
3	5	連絡を密に取り、情報提供等十分に行なっているとは言えない	普段から市担当者と積極的に交流・連携し、運営やサービスの課題解決に向けて協議していける関係づくり	運営推進会議以外でも相談・助言を市担当者に求める等、連携を深める努力を行う	12ヶ月
4	40	特定利用者に対して抑制的言動多くみられる	一人ひとりの人格を尊重した言葉かけや対応を全職員が全利用者に行なえるよう努めていく。	申し送りやミーティングの話し合いの中だけでなく、職員間で普段よりお互いの言動を指摘し合える関係を築く。	6ヶ月
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。